



このニューズレターは、ロシア工業団地協会(事務局:ロシア連邦モスクワ市在)が会員向けに発行する「工業団地ニュースモニター」(露語版)に掲載された内容を中心に、ロシア工業団地協会の活動状況およびロシア各地における工業団地をはじめとする産業インフラの整備状況などをまとめ、日本語でご紹介するものです。通年で4~5回の発行を予定しています。

【今号の内容】

- 「ロシア工業団地便覧」2014年版の英語版が公開
- 工業団地の国家規格制定に向け作業進む
- 工業団地整備のための助成金に関する政令が発効
- モスクワ州の2工業団地が工業団地協会の認証取得
- ウリヤノフスク州工業団地で独部品メーカーの工場が稼働
- ナベレジヌイエ・チェルヌイで工業団地の整備相次ぐ
- モスクワで日本企業向けに「企業立地セミナー」開催へ
- ロシア工業団地協会活動日誌

「ロシア工業団地便覧」2014年版の英語版が公開



ロシア工業団地協会は2014年7月、「ロシア工業団地便覧」2014年版(露語版)を公表した。

「ロシア工業団地便覧」は2013年から年

1回発刊されている資料で、ロシアにおける工業団地の整備状況を分析するとともに、国内における事実上すべての工業団地(協会が認証した工業団地、開業している工業団地、計画中の工業団地および連邦政府による工業生産型経済特区)の概要をひとつひとつ紹介している。

2014年版によると、ロシアにおける工業団地は、40の地方に101か所存在する。これは計画中の工業団地も含んだ数字で、このうちすでに開業している工業団地は45か所。平均面積はグリーンフィールドの場合で553ヘクタール、ブラウンフィールドの場合で81ヘクタールである。国内の全工業団地で合計約7.1万人の雇用が発生している。

このたび露語版に加え、英語版が公開された。ロシア工業団地協会の公式ウェブサイトより無料でPDF版をダウンロードすることができる。ダウンロードはこちらから。⇒

工業団地の国家規格制定に向け作業進む

ロシア工業団地協会では、協会が独自に作成した工業団地の標準(スタンダード)に基づき、国内の工業団地を認証している。これに並行して現在、ロシアにおける工業団地の公式国家規格を制定する作業が進められている。

新国家規格はロシア連邦標準庁(ロススタンダルト)の規準に従って作成されるもので、2014 年年内の制定を目指している。制定後は、ロシア工業団地協会による認証発給の規準と

なるほか、関係官庁による政策遂行や公的開発金融機関による融資審査などに活用される。また、ロシアでの進出先を検討する企業にとっても有力な参考情報となる。

国家規格の作業はロシア工業団地協会、KPI ホールディング、全ロシア認証研究所(VNIIS)が担当し、ロシア工業団地協会が中心となって公聴会を開催するなど、関係者から広く意見を募って進められている。

工業団地整備のための助成金に関する政令が発効

2014 年 9 月 9 日付政府決定「工業団地のユーティリティおよびインフラストラクチャー整備に向けての補助金支出規定の確定について」が発効した。

この政令により 2014 年連邦予算に計上されている総額 2 億 5,000 万ルーブルの補助金の支出が可能となる。この補助金は、国内の工業団地におけるインフラ整備プロジェクトを対象とし、2013～16 年に実施される銀行融資の開発

主体による金利払いの一部を国庫で負担する形で支出されることになる。

この政策は、連邦工業商務省が所管する 2020 年までの国家プログラム「鉱工業の発展と競争力の向上」の枠内にあるサブプログラム「工業団地」に位置づけられており、連邦工業商務省は対象プロジェクト選定のための公開入札をすでに実施。その結果公示が 11 月 26 日に予定されている。

モスクワ州の 2 工業団地が工業団地協会の認証取得

ロシア工業団地協会は 10 月 14 日、認証委員会定例会を開催した。この定例会において、モスクワ州で推進されている「ストゥピノ・クワルタ」(Stupino Quartat) および「ブロンニツィ」(Bronnity)の 2 工業団地の開発プロジェクトが審査され、その結果、同協会の規準に則った工業団地として認証された。

「ストゥピノ・クワルタ」は、モスクワ州南部にある主要都市ストゥピノに隣接するノヴォストゥピノ

市域における工業団地を中核とした民営の総合開発プロジェクト。延べ約 940 ヘクタールにのぼる 4 つの工業団地がユーティリティ・インフラとともに整備されるほか、近代的な住宅地や大学など社会インフラも併設される計画で、モスクワ州における一大イノベーション拠点としての発展が期待されている。参考情報(英語)は

ストゥピノ・クワルタ工業団地開発予定地



(写真:ロシア工業団地協会)

こちらから。⇒

<http://gdpquadrat.com/pr/en.pdf>

他方、工業団地「ブロンニツィ」は、モスクワ市郊外南西部のブロンニツィ市に所在するブラウンフィールド・ベースの工業団地。参考情報

(露語)はこちらから。⇒

<http://www.7811178.ru/objects/bronnicu>

ロシア工業団地協会は2012年にロシアにおける工業団地のスタンダード(標準)を設定し、それに則って申請を行った工業団地に対し、審査のうえ認証を行っている。これまでにロシア国内で同協会が認証した工業団地は33か所にのぼる(開業している工業団地26か所、計画段階の工業団地7か所)。

認証された工業団地のリストは、ロシア工業団地協会ウェブサイトで公開されている。閲覧はこちらから(現時点では露語版のみ)。⇒
<http://www.indparks.ru/certification/indparks/>

ウリヤノフスク州工業団地で独部品メーカーの工場が稼働

ウリヤノフスク州の「ザヴォルジエ」工業団地で、ドイツの部品メーカー「シェフラー」のロシアにおける初めての工場が稼働を開始した。セルゲイ・モロゾフ知事も出席して完工式が10月10日に開催された。シェフラー社は2012年12月にウリヤノフスク州政府およびウリヤノフスク州開発公社との間で工場建設に関する合意書に署名していた。

この工場では自動車メーカー向けにLuKブランドのクラッチおよびINAブランドのトランスミッション向け部品が生産されるほか、年内にはTAROLブランドの鉄道車両用ベアリングの生産も開始の予定。工場建設の総投資額は20

億ルーブル超で、従業員数は約450人である。

シェフラー社では、この工場稼働により顧客への直接出荷が可能となり、ロシア市場における自社のポジションを強化できるとする。立地先であるウリヤノフスク州について、投資環境がロシアでも最も整備が進んでおり、州政府との協力関係も建設的と同社では評価している。

ウリヤノフスク州開発公社が整備、運営するザヴォルジエ工業団地ではシェフラー社のほか、日系のDMG森精機、ブリヂストンも立地を決め、現在、工場建設が進んでいる。

ナベレジヌイエ・チェルヌイで工業団地の整備相次ぐ

タタルスタン共和国のナベレジヌイエ・チェルヌイ市では現在、市内で6つ目の工業団地整備プロジェクトが検討されている。

最近、市当局に申請が出されたのは民間工業団地「インノテフ」(Innotekh)整備プロジェクト。3.7ヘクタールの面積を有するこの工業団

地には中小企業の立地が想定され、200人規模の雇用が見込まれている。

ナベレジヌイエ・チェルヌイには既に「KIP マスチェル」「ラズヴィチエ」「設備の拠点」「チェルヌイ」「KORIB」の5工業団地(物流団地、工場用地等を含む)が創設されている。

モスクワで日本企業向けに「企業立地セミナー」開催へ

ロシア工業団地協会は今年度から来年度にかけ、モスクワにおいて欧州やアジア等の外国企業向けにロシアにおける産業インフラおよび企業立地環境の整備の進展状況を紹介するセミナーを開催することとしている。その一環として、このたびロシア NIS 貿易会およびモスクワ・ジャパンプラブとの共催で、日本企業向けに同セミナーを開催することとなった。最新の主

要団地の整備・企業誘致状況、立地先選定から工場建設・稼働までの工程管理などにつき、最先端の専門家が報告する。

セミナーは12月12日(金)14:00～17:30、モスクワ・ワールドトレードセンター(WTC)「ドン」ホールで開催予定。参加無料。セミナーの詳細および参加申込みは協会事務局・大橋(ohashi@indparks.ru)まで。

ロシア工業団地協会 活動日誌

(2014年7～10月)

- | | |
|--------|--|
| 7月3～4日 | 第5回ロシア工業団地協会年次国際フォーラムをモスクワで開催。「ロシア工業団地協会便覧」2014年版を公表。17か所の工業団地に認証状を発行。 |
| 7月10日 | エカチェリンブルクで開催された第5回総合産業フォーラム「インプロム2014」にてチタンバレー経済特区と共催で「工業団地」分科会を主催。 |
| 7月24日 | 連邦工業商務省、連邦技術標準庁とともにロシアにおける工業団地の公式標準について専門家級の会合を開催。 |
| 8月28日 | 工業団地整備に関する補助金の申請手続きに関する会員向けセミナーを開催。 |
| 9月3日 | オルロフ州工業団地視察会を開催。 |
| 9月9日 | モスクワで開催された第8回国際不動産投資フォーラム「プロエステート2014」にて「工業団地」分科会を主催。 |
| 9月20日 | ソチで開催された国際投資フォーラム「ソチ2014」にて「工業団地」分科会を主催。 |
| 10月20日 | 「ストップ・ノ・ワルタ」「ブロンニツィ」両工業団地に認証状を発行。 |
| 10月22日 | 「モスクワ・タイムズ」紙がモスクワで開催した「自動車工業・機械工業の現地生産化」において「工業団地」分科会を主催。 |

*** 今後の予定 ***

- | | |
|-----------|---|
| 11月18～19日 | ノヴォシビルスクで開催される国際工業団地プロジェクト・フォーラム「インパーク2014」に公式パートナーとして参加。 |
| 11月26日 | モスクワで工業団地の創設・整備に関する会員向けセミナーを開催。 |
| 11月28～29日 | スタヴロポリで開催される第1回南部ロシア国際工業投資フォーラム「ユーグプロム2014」にて工業団地整備に関するセミナーを主催。 |
| 12月12日 | モスクワ・ジャパンプラブおよびロシア NIS 貿易会との共催によりモスクワで日本企業向け工業団地セミナーを開催。 |

ロシア工業団地協会とは…

- ロシアにおける工業団地の整備・発展を目的として2010年に創設された非営利団体です。現在の会員数は約90法人で、ロシアにおける40の地方における約60か所の工業団地が当会の会員です。その他にも民間デベロッパー、建設会社、エンジニアリング会社、法律事務所などが当会に入会しています。
- 当会は公式パートナーであるロシア連邦経済発展省、ロシア連邦工業商務省、スベルバンク、経済団体「実業ロシア」と密接に連携しながら活動を進めています。当会では、工業団地の開発・整備から用地の造成や工場建設、さらには工業団地への企業誘致まで、法律・行政手続き面も含めた様々なアドバイス、情報提供を行っています。
- また、ロシア全国を視野に入れた工業団地の比較検討、企業立地先の選択、工場の建設や稼働に関する手続きや許認可等、ロシアに進出を検討する外国企業の皆様に対しても、それぞれの企業や事業の事情に応じた情報提供やご相談にも応じております。
- 公式ホームページは www.indparks.ru。お問い合わせは、ロシア工業団地協会日本・アジア太平洋担当顧問 大橋(メールアドレス: ohashi@indparks.ru)が日本語でお受けいたします。